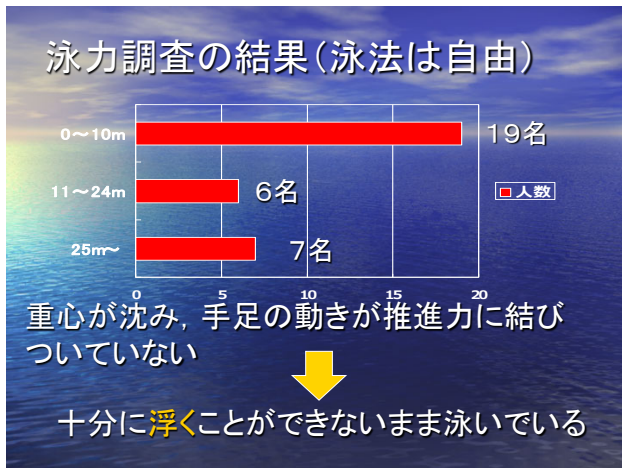


はじめに
 浮く・泳ぐ運動における重要な要素
 陸上では味わえない「浮く」という感覚

しかし
 泳ぐ活動になると、浮く姿勢を崩してしまう

↓

浮く姿勢を保つ意識が失われるのでは？



〈仮説〉
 浮くことの大切さやおもしろさを、十分に体感し、それから泳ぐ活動にひろげる必要がある

「動きのおもしろさ」を軸に構成

↓

ふし浮きの姿勢を意識したまま、無駄な力を抜いて楽に泳ぐことができるのではないか

本単元の「動きのおもしろさ」

- 水の中でバランスをとりながら、無駄な力を抜いて浮くこと
- 水の中で思うように進むこと

研究内容と方法

① 浮く活動と泳ぐ活動とがつながっていくような場や道具、発問の工夫

- ・ バランスをとって無駄な力を抜いて浮くことの大切さを体感させる。
- ・ ふし浮きの状態から、教師が足の裏を押すことで水中を進みやすい姿勢を意識させ、泳ぐ活動へとつなげていく。

- ・ 自然と子どもたちの意識が浮く活動から泳ぐ活動へ向かう。
- ・ 思うように泳ぐことができなかった子は、もう一度浮く姿勢を確認し、泳ぐ活動にもどっていく。

浮く活動



泳ぐ活動

学習サイクルが循環していく

②泳力に差がある子どもを混成したグループ編成

- ・ 得意な子が苦手な子に伝えようとする
- ・ 自分の姿勢や手足の動かし方に目を向けるようになる
- ・ 友達のアドバイスや励ましにより、意欲的に活動に取り組める

授業実践 ～身体感覚づくり～



カラオケシャワー

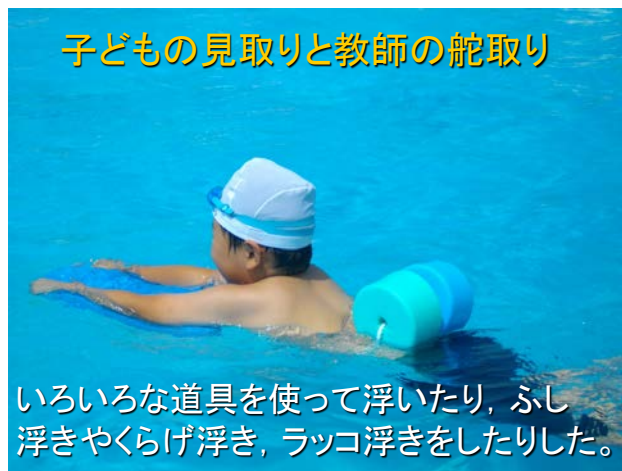


水中徒競走

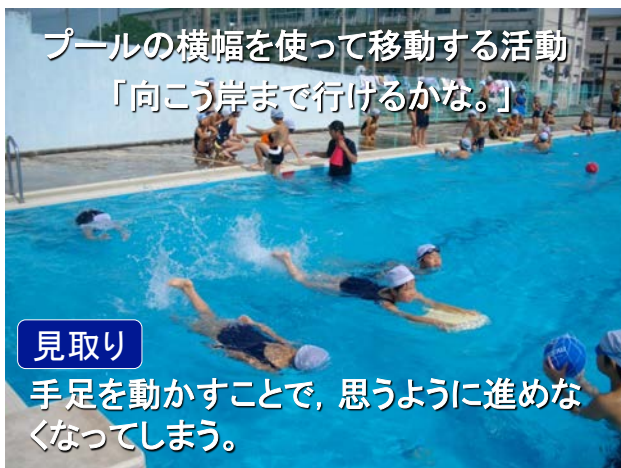
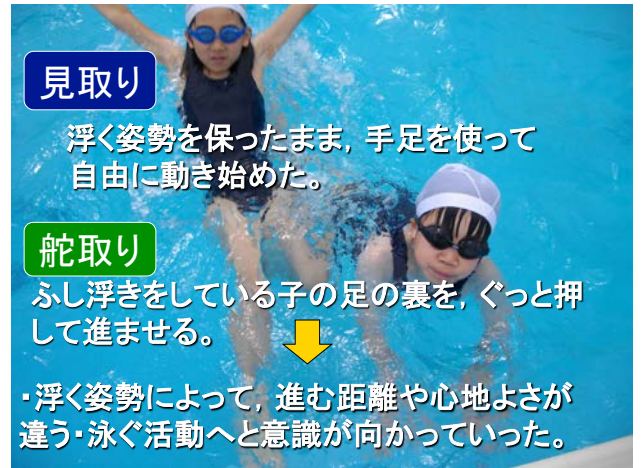
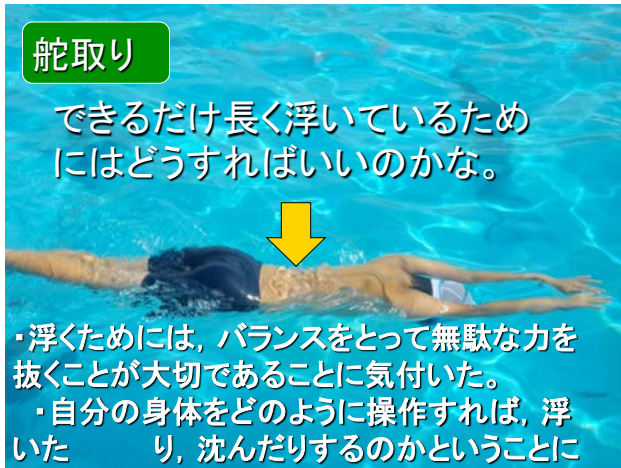


ポピング列車

子どもの見取りと教師の舵取り

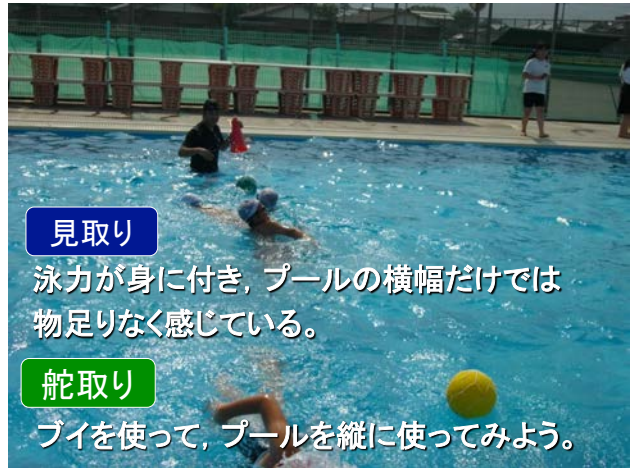


いろいろな道具を使って浮いたり、ふし浮きやくらげ浮き、ラッコ浮きをしたりした。



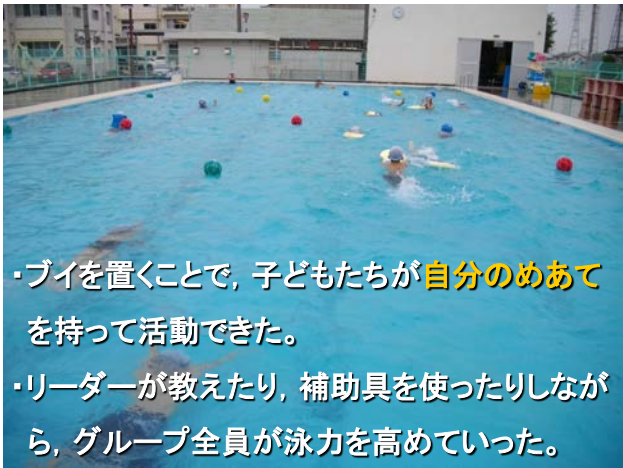


グループでブイを置き、活動する様子



見取り
泳力が身に付き、プールの横幅だけでは物足りなく感じている。

舵取り
ブイを使って、プールを縦に使ってみよう。



・ブイを置くことで、子どもたちが**自分のめあて**を持って活動できた。

・リーダーが教えたり、補助具を使ったりしながら、グループ全員が泳力を高めていった。

〈授業後の感想〉 A子

3			
/			
<感想> 少し体がういた。これから母がくれた。これから母がくれた。はうたい。			

5			
/			
<感想> はじめに水が冷たいので怖かった。ライフジャケットをきて、さいごに何も怖くないで泳がれたから、うれしかった。			

初めは水に慣れず、ライフジャケットを使用していたが、徐々に浮くための姿勢を身に付けていった。

B男

7			
/			
<感想> クロップしかできずようになりました。ういてから手を動かしたので、うきまじ。			

8			
/			
<感想> クロールで25m泳げるようになった。手を動かして泳ぐことができました。			

しっかり浮いてから、手足をゆっくり動かすことが大切であることに気付いている。

C子

1			
/			
<感想> 泳げなかつたからさうぶつといやだった。			

5			
/			
<感想> 16mもある戸外プールを使って、たのしみです。			

6			
/			
<感想> 友達と一緒に泳ぐのが楽しかったです。			

初めは水に入るのも怖がっていたが、仲間の支えもあって、意欲的に練習に取り組めた。

3 6/27 感想 <感想> いっしょに泳ぐのをためした力をめくと、うくようになつた。

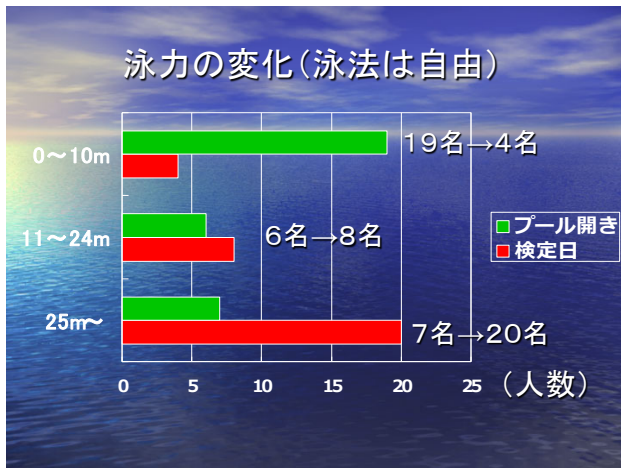
5 7/4 感想 <感想> はしからはしまで泳げない。もう少し長く泳ぐようになりたい。

8 7/11 感想 <感想> 今日はよく泳げた。クロールで泳いで15m以上泳げた。

D子
力を抜いて浮くと、楽に長く泳げることに気付いている。

研究のまとめ

- 泳ぐのが苦手だった子も、無駄な力を抜いて浮けば楽に泳げることに気づき、意欲的に浮く・泳ぐ運動に取り組むことができた。
- 泳ぎが得意だった子も無駄な力を抜くことで、さらに思うように泳げることに気付いた。
- グループを編成することで、子ども同士が学び合う活動ができ、コミュニケーション能力の育成にもつながった。



今後の課題

- 浮く活動で背浮きの練習をしていたのにも関わらず、クロールの練習の時にその姿勢を活かすことが難しかった。
→泳ぎながら回転して背浮きの状態になり、呼吸を整えてから、再び泳ぎ始めるという指導をすべきであった。
- 個々の課題をグループ内で共通理解できていないことがあった。
→友達の泳ぎ方のどこを見るべきなのかという視点を明確にする必要がある。

